

list10.txt

入力:これでbuild errorは無くなりました。次に、W25Q32との接続回路、PWM出力端子の番号を教えてください。

GPT:素晴らしい、ビルドエラーが解消されて良かったです！

W25Q32とRaspberry Pi Picoとの接続について:

W25Q32はSPI通信をサポートしているので、PicoのSPIピンを使用して接続します。具体的な接続は以下の通りです:

1. VCC: W25Q32のVCCは、Picoの3.3Vに接続します。
2. GND: W25Q32のGNDは、PicoのGNDに接続します。
3. CS (Chip Select): W25Q32のCSピンは、任意のGPIOピンに接続します(例えば、GPIO15を使用する場合があります)。このGPIOは、Pico SDKのSPI設定でCSピンとして指定します。
4. DIO (Data In/Out) or MOSI (Master Out Slave In): W25Q32のDIO/MOSIピンは、PicoのGPIO3(SPI0のTX)に接続します。
5. CLK (Clock): W25Q32のCLKピンは、PicoのGPIO2(SPI0のSCK)に接続します。
6. DO (Data Out) or MISO (Master In Slave Out): W25Q32のDO/MISOピンは、PicoのGPIO4(SPI0のRX)に接続します。

PWM出力について:

Raspberry Pi Picoには多くのPWMサポートピンがあります。PWM出力に使用するピンは、特定のPWMスライスや用途によって異なる場合があります。

一例として、GPIO16 (Physical Pin 21)をPWM出力として使用する場合があります。しかし、GPIO0からGPIO29のいずれもPWM出力に設定可能です。具体的なピンを選択する際には、他の使用中のピンや外部の回路との互換性を考慮してください。

この情報が役立つことを願っています。どのピンを使用するか、またはどのように接続するかについての具体的な要件や制約がある場合、お知らせください。